

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社フォーカスシステムズ 上場取引所 大
 コード番号 4662 URL http://www.focus-s.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 啓一
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)畑山 芳文 (TEL)03(5421)7777
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,704	2.1	△30	—	△32	—	△212	—
24年3月期第2四半期	5,588	—	△81	—	△94	—	△94	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△29 59	—
24年3月期第2四半期	△11 96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,374	4,827	42.4
24年3月期	13,208	6,047	45.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,827万円 24年3月期 6,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	10 00	10 00
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	0.8	370	—	320	—	90	△40.6	12 63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	8,146,471株	24年3月期	8,146,471株
25年3月期2Q	1,091,300株	24年3月期	786,800株
25年3月期2Q	7,186,614株	24年3月期2Q	7,914,257株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に穏やかに回復しつつあるものの、世界経済の減速に加え、日中関係の悪化による国内の経済状況に与える影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

情報サービス業界におきましては、企業の情報化投資に対する慎重な姿勢は継続しているものの、顧客企業のソフトウェア関連の設備投資は上向いてまいりました。しかし、プロジェクトマネージャーを始めとした高度情報技術者の人材不足等の問題があり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、「公共関連事業」におきましては、受注の減少により、売上高は減少したものの人的資源の効率活用により、利益は増加いたしました。「民間関連事業」におきましては、既存顧客からの継続的な受注確保や新規顧客開拓により、売上高・利益共に増加いたしました。「セキュリティ機器関連事業」におきましては、時代を反映し、セキュリティ製品の引合いが増加しており、売上高は増加したものの、設備投資に伴う固定費が増加し、利益は減少いたしました。

また、平成24年6月28日開催の定時株主総会において承認された、退任取締役への役員退職慰労金が、当第2四半期に決定したことにより、特別損失が計上されておりますが、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益ともに、ほぼ計画通り順調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高5,704百万円となりました。また利益面では、営業損失30百万円、経常損失32百万円、四半期純損失212百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期における総資産は11,374百万円となり、前事業年度末と比べ1,833百万円減少しました。これは主に、仕掛品の増加150百万円があったものの、投資有価証券の減少1,170百万円、保険積立金の減少384百万円、現金及び預金の減少175百万円、売掛金の減少155百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失への影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,767,400	2,592,191
売掛金	2,272,002	2,116,139
商品及び製品	117,581	42,124
仕掛品	12,232	162,658
繰延税金資産	154,470	154,470
その他	126,629	126,212
貸倒引当金	△6,000	△6,200
流動資産合計	5,444,317	5,187,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,221,465	1,220,462
減価償却累計額	△824,893	△832,539
建物及び構築物(純額)	396,571	387,922
土地	3,304,710	3,304,710
その他	329,938	343,766
減価償却累計額	△250,126	△262,171
その他(純額)	79,811	81,594
有形固定資産合計	3,781,093	3,774,228
無形固定資産		
ソフトウェア	35,157	26,037
その他	9,815	9,815
無形固定資産合計	44,972	35,853
投資その他の資産		
投資有価証券	3,172,656	2,001,964
長期貸付金	55,444	51,601
その他	760,095	370,915
貸倒引当金	△50,250	△47,250
投資その他の資産合計	3,937,946	2,377,231
固定資産合計	7,764,013	6,187,312
資産合計	13,208,330	11,374,909

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	512,512	546,031
1年内償還予定の社債	100,000	70,000
短期借入金	765,900	909,600
1年内返済予定の長期借入金	1,210,129	1,410,777
未払法人税等	415,900	19,066
賞与引当金	284,299	424,002
役員賞与引当金	24,000	8,000
訴訟損失引当金	56,400	56,400
その他	573,336	519,538
流動負債合計	3,942,477	3,963,416
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	1,628,913	1,827,492
繰延税金負債	1,039,736	624,600
役員退職慰労引当金	502,690	104,559
その他	27,362	27,013
固定負債合計	3,218,702	2,583,665
負債合計	7,161,180	6,547,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,905,422	2,905,422
資本剰余金	1,468,471	1,468,471
利益剰余金	199,966	△86,307
自己株式	△434,796	△623,253
株主資本合計	4,139,063	3,664,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,908,086	1,163,493
評価・換算差額等合計	1,908,086	1,163,493
純資産合計	6,047,149	4,827,827
負債純資産合計	13,208,330	11,374,909

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,588,095	5,704,998
売上原価	5,075,720	5,157,456
売上総利益	512,374	547,542
販売費及び一般管理費	593,672	577,835
営業損失(△)	△81,298	△30,292
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,430	19,261
受取家賃	11,453	11,489
貸倒引当金戻入額	6,188	2,800
その他	8,660	10,017
営業外収益合計	31,733	43,569
営業外費用		
支払利息	37,547	36,920
貸与資産減価償却費	3,596	3,458
その他	3,927	5,613
営業外費用合計	45,071	45,992
経常損失(△)	△94,635	△32,715
特別利益		
投資有価証券売却益	—	301,646
保険解約返戻金	—	222,202
ゴルフ会員権売却益	—	2,054
特別利益合計	—	525,903
特別損失		
役員退職慰労金	—	704,078
投資有価証券評価損	—	1,786
特別損失合計	—	705,864
税引前四半期純損失(△)	△94,635	△212,676
法人税等	—	—
四半期純損失(△)	△94,635	△212,676

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月4日開催の取締役会、平成24年1月16日開催の取締役会及び平成24年4月16日開催の取締役会並びに平成24年8月10日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議し、大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場において買付をいたしました。

また、平成24年8月9日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議し、大阪証券取引所J-NET市場において買付をいたしました。

この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が188,456千円、304,500株増加し、当第2四半期会計期間末における自己株式は623,253千円、1,091,300株となっております。